

官民協働海外留学支援制度
～トビタテ！留学JAPAN日本代表コース～
「地域人材コース」

おかやま若者グローバルチャレンジ応援事業

学生募集説明資料

おかやま若者グローバルチャレンジ応援地域協議会



トビタテ！
留学JAPAN

その経験が、未来の自信。

もくじ

1. 官民協働プロジェクトの目標
2. 日本代表プログラムの5つのコース
3. 地域人材コースの目的
4. 運営体制のイメージ
5. 支援企業・団体
6. 地域人材コースの特徴
7. 留学計画の申請要件
8. 求める人材像
9. 育成したい人物像
10. 派遣留学生の要件
11. 選考
12. スケジュール
13. 留学計画の作成
14. 実践活動の探し方
15. 県内インターンシップの流れ
16. 留学計画イメージ
17. 申請書類の作成・提出
18. お問い合わせ

官民協働プロジェクトの目標①

2020年までに日本人留学生倍増****
(「日本再興戦略」平成25年6月14日閣議決定)

大学生等 **6万人→12万人**

高校生 **3万人→6万人**

全ての意欲ある若者に海外留学の機会を

官民協働プロジェクトの目標②

文部科学省初の官民協働プロジェクトによる支援

日本代表プログラムの創設

民間からの寄付

200億円

学生日本代表を海外へ派遣 10,000人

※2020年までの目標

日本代表プログラムの5つのコース

自然科学系、複合・融合系人材コース

- 日本再興戦略や産業界のニーズに合った理工系分野における留学を支援。先端領域における研究等特徴のある取組を支援。

新興国コース

- 今後成長が期待される新興国（アジア等）への留学を支援。

世界トップレベル大学等コース

- 世界大学ランキングで上位100位以内に位置する等、諸外国におけるトップレベルの大学などで、世界中から集まった優秀な学生とせめぎあいながら、高度な教養や専門を身につけることを目的とした留学を支援。

多様性人材コース

- 各々の分野において、今後活躍が期待できる人材が行う留学を支援。

地域人材コース

- 地域の活性化に貢献したい人、地域に定着したい人向けの留学を地域の自治体・企業とともに支援。

地域人材コースの目的

- ◆海外での学修と実践活動を通じてチャレンジ精神や行動力を備え持つ骨太な人材を育成
- ◆インターンシップを通じて、県内企業への愛着や地域に貢献したいという志を持つ人材を育成し、県内企業への就職の橋渡し



目指すべき岡山の姿

- 強みが生かされ、経済活動が活発化していく地域
- グローバルに発展する岡山
- チャレンジする若者を地域を挙げて応援する社会



運営体制のイメージ



支援企業・団体



平成27年3月3日現在

地域人材コースの特徴

① 実践的な海外留学

② 県内企業での
インターンシップ

③ 派遣留学生
コミュニティ

④ 充実した奨学金等

⑤ 事前・事後研修等
の提供

①実践的な海外留学

留学期間：3か月以上1年以内

留学中の活動

学修活動 +

実践活動

↑
学生が応募時に
自ら立案

学生自身が立案・作成した留学計画

実践活動を焦点とした留学
⇒ グローバルな視点を養うための
「**岡山の認知度向上**」をキーワード
にした実践活動

在籍大学等の大学間協定等に基づく、
単位認定等を含む学修活動

②県内企業でのインターンシップ

県内企業での留学前後のインターンシップ (合わせて20日程度・連続でなくても可)

事前インターンシップ (1日程度)

- ◆ 受入企業と留学先での実践活動の提案について意見交換

事後インターンシップ (事後を重視とする)

- ◆ 留学での活動報告、研究成果、提案等の報告
- ◆ 実践的な業務を実施

どんな体験がしたいか、どんな職業に就きたいか…
コーディネーターのアドバイスによりインターン
シップ先を決定

③ 派遣留学生コミュニティ



帰国後もトビタテ！留学JAPANのグローバル人材を育成するコミュニティメンバーとして、様々な交流の機会を得られます。世界を体験してきた立場から、後輩たちに留学の魅力を伝えてもらいます。

④ 充実した奨学金等

月額

- 12万～20万円（留学先地域により異なる）

往復渡航費の一部

- アジア地域：10万円
- 上記以外の地域：20万円

授業料

- 1年以内の留学：上限30万円まで相当額を支給

事前・事後研修参加費 （日本学生支援機構主催）

- 事前・事後研修参加のための国内旅費の一部

⑤ 事前・事後研修等の提供

事前オリエンテーション 【地域人材コース】

- プログラムの趣旨の理解
- 留学のための知識、インターンシップの心構えの習得

事前研修 【日本代表プログラム】

- 将来のグローバルリーダーとしての動機付け
- 留学目的・計画の明確化
- 成長と活躍に必要な土台づくり

事後研修 【日本代表プログラム】

- 留学体験の振り返りと今後の学生生活への接続
- コミュニティ活動への接続

事後報告会 【地域人材コース】

- 留学の活動報告、研究成果・提案等の報告

留学計画の申請要件

- ◆ 平成27年9月1日から平成28年3月31日までの間に諸外国において留学が開始される計画
- ◆ 諸外国における留学期間が3ヶ月以上1年以内の計画
- ◆ 留学先における受入れ機関が存在している計画
- ◆ 在籍大学等の大学間協定等に基づく単位認定等を含む学修活動が含まれている計画
- ◆ 実践活動が含まれている計画

求める人材像

- ◆ 日本人学生等であって、将来のグローバルリーダーとして、留学を通じて多様な素養を身につけようという意欲を有する人材
- ◆ 世界で活躍したいという意欲、又は日本において日本の良さ、地域の良さを世界に発信し、日本から世界に貢献したいという意欲を有する人材
- ◆ 本制度で実施する事前・事後研修や留学生ネットワーク等における教育課題や本制度における諸活動に主体的に参画する人材
- ◆ 県内企業等に就職する等、本県の発展に貢献することを希望する人材

育成したい人物像

選考時

- 意欲、好奇心
- 挑戦する姿勢
- 社会に貢献したいという志

留学

- ● 生活習慣、価値観の違い等に柔軟に対応し、自分で考え何事にもチャレンジ
- 多くの人脈づくり
- 国際感覚を理解
- コミュニケーション能力と自分の考えを伝える力を向上

インターンシップ

事後研修

- ● 社会人としての心構えを習得
- プレゼンテーション能力向上
- 社会貢献の重要性を認識
- リーダーとして必要なものを習得

社会が求める人材へ 成長

- 国際感覚
- 挑戦する姿勢
- 組織に活力、周囲を巻き込む能力
- 国内外の広い人脈づくり
- 社会へ貢献

派遣留学生の要件

- ◆ 日本国籍を有する学生又は日本への永住が許可されている学生
- ◆ 本制度で実施する事前・事後研修及び留学生ネットワークに参加する学生
- ◆ 岡山県内の在籍大学等において、学位取得を目的とした課程に在籍する学生
- ◆ 岡山県内の在籍大学等が派遣を許可し、留学先機関が受入れを許可する学生
- ◆ 日本学生支援機構の第二種奨学金に掲げる家計基準を満たす学生
- ◆ 留学に必要な査証を確実に取得し得る学生
- ◆ 留学終了後、岡山県内の在籍大学等で学業を継続又は学位を取得する学生
- ◆ 平成27年4月1日現在の年齢が30歳以下である学生
- ◆ インターンシップ等での報酬等を受ける場合は、その平均月額が、本制度による奨学金の支給月額を超えない学生
- ◆ 本制度の第1,2期派遣留学生でない学生
- ◆ 本制度の平成27年度後期（第3期）の他の4コースに応募していない学生

選考

選考

- 10名以内（予定）

※実際の支援人数は、応募・審査の状況等により変動します。

審査の観点

- 審査の観点は計画評価と人物評価
- 1次審査：留学計画と本人の志望動機等（書面審査）
- 2次審査：留学に対する強い意欲、留学において得た成果を将来的に地域内で活用するビジョンを有しているか等（面接審査）

スケジュール

2015年

2016年

3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	----	----	----

応募期間

選考期間

留学開始 (9/1~3/31)

事前(留学前)・事後(留学後) インターンシップ (20日程度)

★ 事前オリエンテーション

★ 事前研修 (全国)

★ 事後報告会

★ 事後研修 (全国)

- ◆ 在籍大学等への提出期限 : 平成27年4月30日
- ◆ 産業振興財団への提出期限 : 平成27年5月11日
- ◆ 1次審査(書面審査) : 平成27年5月下旬
- ◆ 1次審査の結果通知 : 平成27年5月末
- ◆ 2次審査(面接審査) : 平成27年6月中旬
- ◆ 2次審査の結果通知 : 平成27年6月末
- ◆ 事前オリエンテーション : 平成27年7月頃
- ◆ 事前研修 : 平成27年7月下旬から8月中旬
- ◆ インターンシップ : 平成27年8月以降
- ◆ 海外留学 : 平成27年9月1日~平成28年3月31日留学開始
- ◆ 事後インターンシップ : 海外留学終了後から順次
- ◆ 事後研修 : 平成27年12月上旬(予定) ※研修形態により変更の可能性あり
- ◆ 事後報告会 : 平成28年1月頃、年1~2回開催 ※研修形態により変更の可能性あり

留学計画の作成

学修活動 + 実践活動

◆対象となる分野

自動車・航空産業、新エネルギー、医療福祉機器、観光産業、バイオ、食品、6次産業化・農商工連携による事業や人文科学など、学生が在籍大学等で学んでいる分野

◆実践活動

キーワードは「**岡山の認知度向上**」

岡山県には、ものづくりをはじめとした優れた産業、温暖な気候や恵まれた自然環境、高品質な農林水産物などが豊富です。国外で岡山県の優位性を情報発信し、また、事業活動に関する課題の克服に繋がる取組を実践することにより、岡山の認知度向上に繋がります。

例えば、

- 取引拡大を目指し、本県の製品を紹介
- 売れる商品開発のためのマーケティング調査
- 外国人誘客の拡大に向けた観光資源の紹介、外国人のニーズに合わせた商品やサービスの提案

実践活動の探し方

①在籍大学等、教員
から情報収集

②海外経済・事情に
詳しい団体から情報収集

③企業が求める
実践活動

④岡山県との友好提携先

⑤支援企業が提供する
海外インターンシップ

⑥その他

①在籍大学等、教員から情報収集

- ◆キャリアセンター、就職課などに相談
- ◆学内の研究室や教員が持つ人脈、ネットワークを活用

②海外経済・事情に詳しい団体から情報収集

各団体から詳しい情報を直接お聞きしたい場合は、在籍大学等を通して産業振興財団にお問い合わせください。適切な団体をご紹介します。

- ◆ **独立行政法人 日本貿易振興機構（ジェトロ）**

<http://www.jetro.go.jp/indexj.html>

海外ビジネスなど各国の情報を入手できます。

- ◆ **岡山県 産業労働部 マーケティング推進室**

<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/320/>

県内企業の海外進出状況や中国、ベトナム、カンボジア、タイ、インドネシアなどの現地情報を提供します。

- ◆ **一般社団法人 岡山県国際経済交流協会（OIBA）**

<http://www.optic.or.jp/oiba/>

海外の経済やビジネス関連情報などを収集したい方はお問い合わせください。

③企業が求める実践活動（企業からのメッセージ）

留学先で多くの人と交流を持つことができる実践活動

- 笑顔で挨拶し、明るく、プラス思考でチャレンジしてほしい。
- 異文化を体験し、カルチャーショックを受けた事、困った事を忘れずに、帰国後、共有し、地域の活性化に活かしてほしい。
- 理系文系にかかわらず、実践活動を通じて、コミュニケーション能力を高めたい。

留学先での各種業界の仕組みやマーケットなどを理解する実践活動

- 現地の業界機関や企業、消費者などへのヒアリングなどにより、日本や岡山との違いを認識し、県内の業界関係者にフィードバックするなど、地域貢献する活動。

留学生にとって、新しい事にチャレンジする実践活動

- 語学力だけに頼らず、自分のテーマを遂行する行動力を伴った活動など。

④岡山県との友好提携先

◆南オーストラリア州政府でのインターンシップ

テーマに関連する部署でインターンシップし、職員との意見交換や業務を体験し、さらにその情報をもとに独自の活動を計画

南オーストラリア州公式サイト <http://www.sa.gov.au/>

- ・インターンシップの期間：1～2週間
- ・英語でのコミュニケーション能力が必要

※留学決定後、岡山県と南オーストラリア州政府との調整が必要になります。

岡山県は南オーストラリア州と友好交流協定を締結し、行政・文化・教育・経済などの幅広い分野で交流をしています。

南オーストラリア州は、その名のとおりオーストラリアの南央部に位置しています。温暖な気候と豊富な天然資源とに恵まれ、農畜産物、良質のワインが生産されることで有名です。近年は、情報技術関連産業に力を入れています。州都アデレードは、約100万の人口を抱える州の政治・経済、文化の中心地です。



⑤ 支援企業が提供する海外インターンシップ

◆ 学生の留学計画に組み込めるように設計した海外インターンシップを提供

県内企業の海外事業所において、ものづくりやビジネスの現場を体験するとともに、情報交換を行い、海外での活動の場を広げましょう。

海外インターンシップの最新情報は産業振興財団ホームページ「おokayama 若者グローバルチャレンジ応援事業」のサイトでご確認ください。

さらに詳しい内容を確認したい場合は、在籍大学等を通じて産業振興財団へお問い合わせください。

⑤-1 支援企業が提供する海外インターンシップ

萩原工業 株式会社



◆ものづくり現場でのインターンシップ

当社は、中国、インドネシアに海外拠点があり、ポリプロピレン、ポリエチレンを原料とするフラットヤーン、モノフィラメント、クロスシートなどを製造しています。ものづくり現場でのインターンシップをご用意します。

萩原工業 公式サイト <http://www.hagihara.co.jp/index.html>

人も企業も生きているのではなく生かされています。企業にはそれぞれこの世にあって果たすべき使命・役割があるのです。

これからも萩原工業は、フラットヤーン技術が醸し出す製品や関連機械を通じて、世の中の人々がより安全で快適に、そして効率的経済的活動が出来るように努力いたします。

人と製品が活性し続ける企業、それが萩原工業なのです。



⑤-2 支援企業が提供する海外インターンシップ

片山工業 株式会社



◆ 若手社員の海外研修のノウハウを活用したインターンシップ

当社は、グローバル化に対応できる人材を育成するために2011年から階層別に社内研修を実施、2012年から若手社員の海外研修を実施しています。アメリカ（ケンタッキー州）現地法人KACIにて、そのノウハウを活用したインターンシップをご用意します。

片山工業 公式サイト <http://katayamakogyo.jp/index.htm>

当社は、アメリカを始め、現在10カ国14拠点に生産工場があります。現地のカーメーカーの設計者と部品設計を取り決め、現地の技術者と新しいラインを据え付け、現地の作業者に部品の作り方を教えなければなりません。言語はもちろんこと、全く異なった価値観や考え方を持った人たちと短期間でひとつのプロジェクトを完了させなければなりません。



⑥-1 その他

岡山県産品のPR、アンケート調査

◆ 岡山県が開催する海外展示会、物産展、販売プロモーションでのスタッフ体験など

スタッフや出展企業の運営補助、現地消費者へのアンケート調査などの実施、分析などで販路拡大をサポートします。

岡山県では、県内事業者が生産・製造する農林水産物、加工品などを海外に売り込むために、日本食先進地域の台湾、香港などの大規模展示会や高級スーパー等で、ブースを設けて、販路支援をする予定です（8月）。

また、シンガポール、マレーシア、インドネシアなどでの販売プロモーションも予定しています（時期未定）。



※原則、留学は9月1日スタートです。8月の大規模展示会等に
参加したい場合は、事前に産業振興財団までご相談ください。

⑥-2 その他

◆ 海外での実践活動に役立つ名刺づくりをサポート

ビジネスのシーンでは数多くの人と名刺交換する機会があります。名刺をきっかけに、情報交換し、人脈を増やすこともできます。名刺を作りたいという学生には、留学先の外国語表記をお手伝いします。

例) 表面



トビタテ!
留学JAPAN
その経験が、未来の自信。

〇〇大学〇〇学部
岡山 晴男
Okayama, Hareo

倉敷美観地区

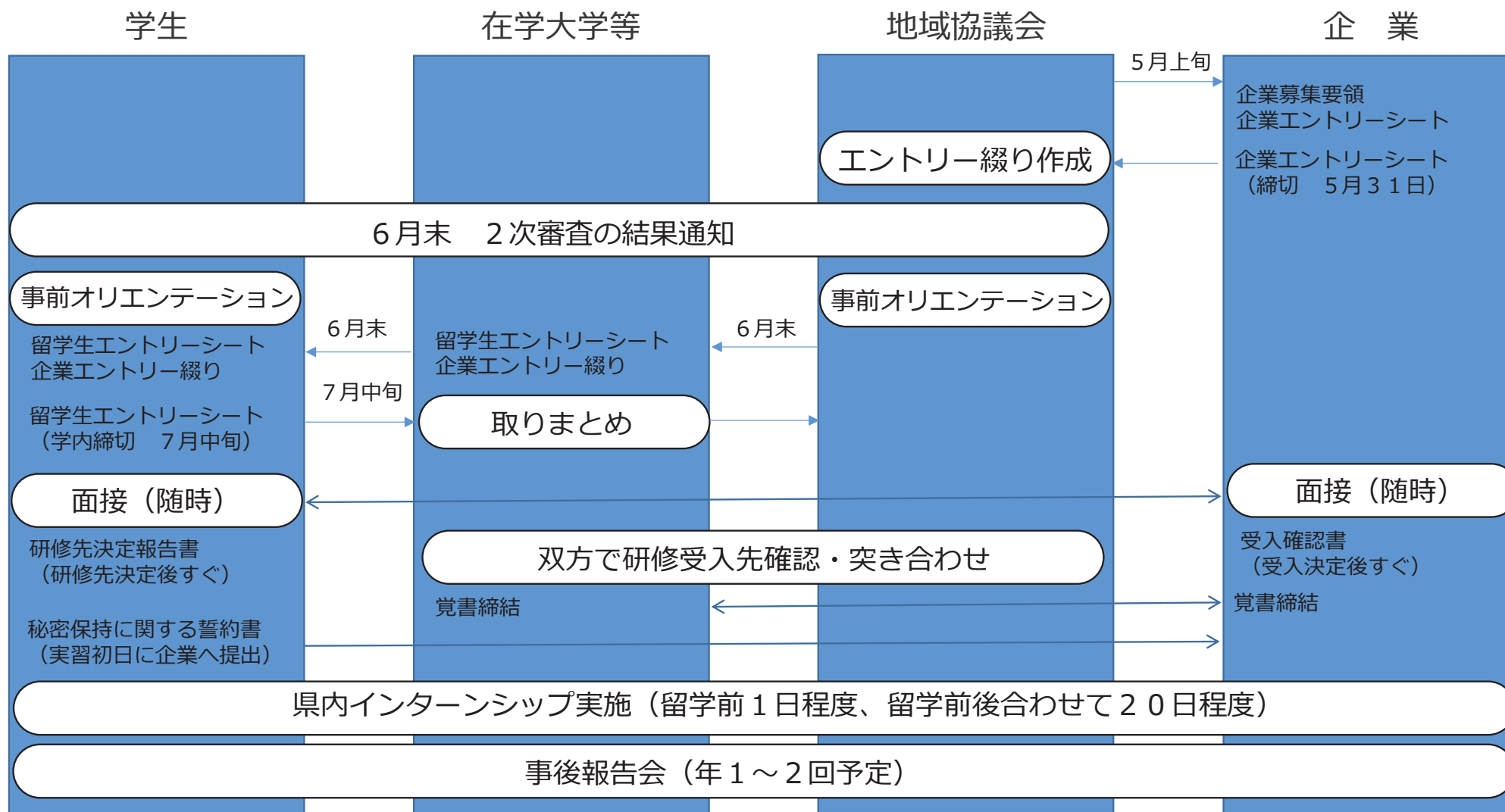
〒700-8570
岡山県岡山市北区内山下2-4-6
TEL ***** FAX *****
E-mail:*****

岡山県

裏面

※留学先の外国語表記をお手伝いします

県内インターンシップの流れ



留学計画イメージ（事例1）

◆ 将来の目標：次世代自動車の研究開発に携わり、岡山から次世代自動車を世界に普及させたい

事前インターンシップ

- 企業で次世代自動車の研究内容を学ぶ
- 企業が期待する活動内容を把握
- 企業の方との意見交換により、海外体験での目標を再確認

海外プログラム

- 海外大学で専門知識を習得
- 学生等と交流し、岡山と海外の技術、流通等の違い、課題等を把握
- 海外事業所でのインターンシップや海外大学の協力を得て、本県の自動車産業の製品を紹介し、市場調査、環境調査等のフィールドワークを実施

事後インターンシップ

- 海外で学んだことを報告、提案
- 実践的な業務体験



留学計画イメージ（事例2）

◆ 将来の目標：岡山の優れた技術の医療福祉機器を世界の医療福祉の現場で役立てたい

事前インターンシップ

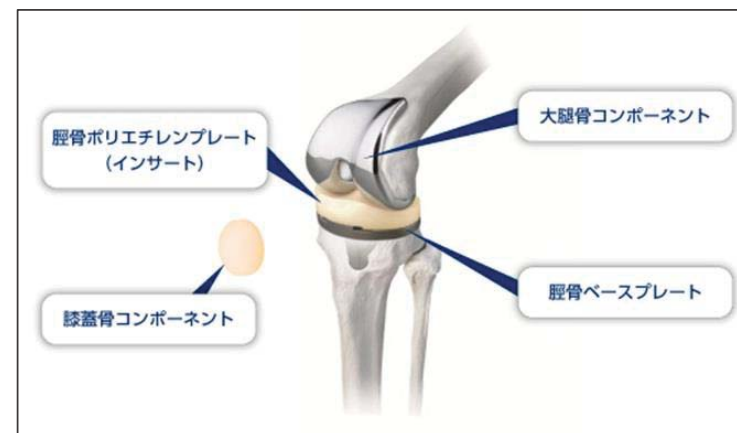
- 製造過程を見学
- 企業の方との意見交換により、海外体験での目標を再確認
- 医療福祉現場で使用されている様子を見学

海外プログラム

- 海外大学で専門知識を習得
- 海外の医療福祉現場において、本県で製造した機器をPRするとともに、海外の医療福祉の実態やニーズを把握

事後インターンシップ

- 海外で学んだことを報告、提案
- 実践的な業務体験



▼ 人工関節

留学計画イメージ（事例3）

◆ 将来の目標：旅行会社に就職し、多くの外国人観光客を岡山に呼び込み、元気な岡山にしたい

事前インターンシップ

- 旅行会社の方との意見交換により、情報発信方法や課題を把握
- 地元観光施設を訪れ、外国人旅行者にインタビューを実施
- 特産品製造販売会社と海外でのモニター調査の実施について打ち合わせ

海外プログラム

- 海外大学で専門知識を習得
- 学生等と交流し、岡山の情報発信方法の課題やポイントを把握
- 岡山県が実施する海外での販売プロモーションに参加し、外国人ニーズを把握
- モニター調査を実施

事後インターンシップ

- 海外で学んだことを報告、提案
- 実践的な業務体験



申請書類の作成・提出

- ◆ 産業振興財団HP「おかやま若者グローバルチャレンジ応援事業」のサイトから「留学計画書」をダウンロードし、作成

<http://www.optic.or.jp/>

- ◆ 受入先機関の受入れ許可証等、計画の実現性を証明できる文書等（写）があれば提出

申請書類を在籍大学等へ提出

- ◆ 記入漏れや不備がないか確認
- ◆ 在籍大学等の指定する提出方法に基づいて申請書類を提出

提出期限

平成27年4月30日（木）

お問い合わせ

◆応募学生は、在籍大学等を通じて各手続及び質問等を行ってください。

問い合わせ先

- 公益財団法人 岡山県産業振興財団

【平成27年3月31日まで】

経営支援部 中小企業支援課

電 話086-286-9626

F A X 086-286-9627

【平成27年4月1日から】

総務部 情報支援・人材育成課

電 話086-286-9661

F A X 086-286-9662

住所

- 〒701-1221 岡山市北区芳賀5301 (テクノサポート岡山)

メール

- ryuugakusei@optic.or.jp

受付時間

- 8:30～17:15 (平日)